

きつねにとり殺された鎌倉武士〈かまくらぶし〉（揖西町）

「ああ、もう夜が明けるかー。」

草のしとねから、けだるそうに身を起こした海老名弾正（えびなだんじょう）は、はきすてるようにそうつぶやくと、今までの悪夢を、ふりはらうかのように、立ちあがりました。

弾正の見た悪夢というのは—こうです。

もう数年も前のことですが、そのころ、弾正は得意の絶頂にありました。源頼朝（みなもとよりとも）が、鎌倉武士の士気を高めるために、富士の裾野（すその）で大巻狩（まきがり）をもよおしたときのことで、

血気にはやる弾正は、「われこそ第一番の獲物を。」

と、じまんの弓をたずさえ、愛馬に鞭（むち）うって、かなたにかけ、こなたをめぐりました。しかし、いっこうに良い獲物に出会いません。あちこちで、獲物を射止めた歓声（かんせい）がどつとわきあがるごとに、弾正は、追い立てられたような気持ちになって、だんだんあせってきました。

そんなかれの前に、かっこうの獲物があらわれたのは、もう夕方近いころでした。子どもを連れたきつねです。弾正の胸はよろこびにふるえました。「のがすものか！」と、強弓（ごうきゅう）に矢をつがえ、ねらいを定めながら追いつめました。

そのときです。

母ぎつねは、何を思ったのかピタリと立ちどまって、かれに向かって前脚をこすりながら、しきりに頭を下げるのです。そうです。畜生（ちくしょう）ながら、もうのがれられない運命をさとしたのです。そして、子ぎつねのために、けんめいの命ごいをしているのです。

弾正は、あっと思ってたじろぎました。きつねの心が、一瞬、あわれに思えたからです。でも、かれは、弓をおろそうとはしませんでした。きつねへのあわれみよりも、今のかれには、功名心の方がはるかに強かったのです。

しきりに頭をさげる母ぎつねに向かって、かれの矢は、うなりを立てました。きつねは、もんどりうって倒れ、子ぎつねが鳴きながらそれにとりすがっていききました。

弾正が狂ったのは、それからでした。

前脚をこすりながら、しきりに哀願（あいつげん）する、きつねのまぼろしに追われながら、かれの放浪（はうろう）の生活が始まったのです。山に伏し、草にねる、そんな毎日のくり返しに、かれの顔は、だんだん青ざめ、髪（かみ）やひげがたれさがって、見る人に鬼気（きき）を感じさせました。

今、弾正が、夜明けにめざめたのは、播磨国桑原庄字野良（はりまのくにくわばらしょうら）（龍野市揖西町新宮）で、出雲（いずも）に向かう一すじの山道の、峠（たもと）にさしかかるところです。



日の出には、まだほど遠く、うすぐらい谷間に、霧（きり）がしらじらと流れて、背の高い野草（よそう）が風に吹かれていました。

その草をかきわけて、弾正が一步踏み出したときです。

大きなきつねが、どこからともなく忽然（こつぜん）とあらわれ、かれのゆく手をさえぎるかのよう、どっかと立ちはだかったのです。しかも、鱗光（りんこう）のような二つの目が、弾正の動きにつれて、右に左にと移動し、不気味な光を放つのです。

弾正は怒りました。

「おのれ！」と叫びざま、一步高くとびあがると、手練（しゅれん）の抜き打ちが、きつねのひたいを切りさきました。まっ赤な血が草にとび散り、かれのからだを染めました。

その瞬間、弾正に正気がもどったのです。

だが、倒れたはずのきつねの姿はありません。かれの腕（うで）にたしかな手ごたえを感じさせたのは、なんと、道の辺（みちのべ）の石仏（いしぶつ）で、しかも、その石仏のひたいに、一すじの血が流れているではありませんか。

弾正は、うめきました。

ひじょうな恐怖（こっぷ）が、かれの背をつらめき、一刻も早くこの場をのがれたい思いで、必死（ひっし）になってかけ出しました。しかし、その足どりは一町（いっちょう）（やく百九メートル）とも続かず、かれは、くずれるように田（い）の中に倒れこむと、そのまま、ぴくりとも動かず、息絶えてしまったのです。

村人は、きつねにとり殺された弾正をあわれんで、かれの死んだところに、梅（うめ）の木を植え、小さな石を積んで、墓（かぶ）としました。その梅の枝を折ると、まっ赤な血が流れ出すということで、後世（こうせい）の人は恐（おそ）れて近（ちか）りませんでした。

弾正の墓（かぶ）といわれるそこは、三つの田のちょうど境目（さかいめ）のあるところで、今は、梅（うめ）の木も枯（か）れてなく、丸い石が小石（こいし）の上（う）におかれているだけです。でも、今も、有志（よし）の方が、年に一回、おまつりをされているそうです。また、弾正（だんせい）がきりつけたという石仏（いしぶつ）一石（いっしき）に仏（ぶつ）を線で刻（き）んだもの—は、新宮（しんぐう）の村（むら）はずれ現在（いま）に、船積（ふなづみ）取（と）り（いさむ）さんというおうちの庭（にわ）に、大事（だいじ）にまつられています。

